

地域密着型サービス事業者 自己評価表

(認知症対応型共同生活介護事業所 ・ 小規模多機能型居宅介護事業所)

| | | | |
|-----------|------------------|---------|------------------|
| 事業者名 | グループホーム菜の花上野幌館2階 | 評価実施年月日 | 平成22年1月25日～1月30日 |
| 評価実施構成員氏名 | | | |
| 記録者氏名 | | 記録年月日 | 平成22年2月3日 |

北海道

は外部評価項目

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んで きたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む) |
|-------------|---|-----------------------|---------------------------------|
| I. 理念に基づく運営 | | | |
| 1. 理念の共有 | | | |
| 1 | <p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。</p> <p>ホーム理念「地域とのふれ合いを大切にしたい暮らし」、ケア理念「住み慣れた地域での生活を笑顔で送れるよう支援します」を理念にかかげ、廊下に掲示し職員の名札の裏に携帯している。</p> | | |
| 2 | <p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。</p> <p>申し送り時に、日々理念を確認し、スタッフ会議時に理念に添った介護ができていますか、検討し確認している。</p> | | |
| 3 | <p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。</p> <p>理念を「菜の花便り」に掲載更に、家族会、運営推進会議等で理念を説明し理解していただけるよう努めている。</p> | | |
| 2. 地域との支えあい | | | |
| 4 | <p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。</p> <p>ゴミ捨てや雪かき、散歩など外出時には進んでご挨拶と、声かけを心がけている。今では近所の人から声を掛けられるようになった。又、裏に住んでいる報恩学園の学生さんが雪なげを手伝ってくださる等、近隣の方との付き合いができるようになってきている。子ども110番の家に指定されている。</p> | | |
| 5 | <p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。</p> <p>町内会に加入し町内の夏祭りにもリサイクルコーナーを出店する事ができた。又、ボランティアさんとの交流もでき、定期的に来てくださる方も定着している。地域の老人クラブのカラオケサークルに毎月参加されているご利用者もいる。</p> | | |
| 6 | <p>○事業者の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。</p> <p>「地域貢献に何が出来るか」を、スタッフで話し合っている。町内会の夏祭りのリサイクルショップにグループホームについて説明文を掲示、多くの皆様が読まれていた。又介護相談コーナーも設けた。</p> | | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んで きたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む) |
|-----------------------|---|-----------------------|--|
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | |
| 7 | <p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p> <p>ユニット会議で外部評価の意義について話し合い、サービス改善に取り組んでいる。更に自己評価表も全員に配布し、記入してもらった。</p> | | |
| 8 | <p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p> <p>二ヶ月に一回、運営推進会議を開催し、町内会・民生委員・地域包括支援センター・ご利用者様のご家族が参加していただき、それぞれの立場から様々な意見をいただきケアサービスの向上に努めている。</p> | ○ | 運営推進会議に出席して下さる構成員を増やしていきたい。 |
| 9 | <p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p> <p>区の保護課の方とは、受診時に連絡している、時には保護課の担当者が訪問してくださり、意見交換をさせていただいている。</p> | | |
| 10 | <p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p> <p>外部研修で成年後見人制度や、地域権利擁護事業については研修で学んだ。</p> | ○ | 今後、ご家族やご利用者様から相談を受けた際は、成年後見制度を活用できる様に支援していきたい。 |
| 11 | <p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p> <p>虐待に関する研修(内部、外部)を受け、ホーム内での虐待や身体的拘束は絶対にあってはならないことを全スタッフに周知、徹底している。又、ユニット会議でも言葉による虐待がないか話し合っている。</p> | | |
| 4. 理念を実践するための体制 | | | |
| 12 | <p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p> <p>入居・退居時ご家族に具体的に説明し、疑問等についても十分に話し合い、納得をしていただいている。</p> | | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでい きたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む) |
|---|--|------------------------|---------------------------------|
| 13 ○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。 | ご利用者の意見、不満、苦情については、申し送りやユニット会議で改善に向けて検討している。又、職員では対応できない問題点が発生した場合、本社に報告、改善に向けて取り組み、運営に反映させている。 | | |
| 14 ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。 | 面会時に健康状態や診察結果を報告している。「菜の花便り」を通じて行事や日々の様子、更にスタッフの異動等掲載しご家族に報告している。金銭管理については、個人出納等で管理し、領収書も含め、毎月ご家族に郵送している。 | | |
| 15 ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。 | 年一回、家族会を開催し、意見・意向を聞いている。又、意見箱の設置や苦情相談の提示をしている、苦情については、ミーティングや会議で検討し本社にも伝え、苦情に対して早急な対応と改善に努めている。管理者会議で、他館であった苦情の報告があり、上野幌館で同じ事が無い様、努めている。 | | |
| 16 ○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。 | ユニット会議を行ないスタッフの意見や要望を聞き、検討している。又、介護事業部長が定期的に当ホームに来てスタッフと面談、意見や提案を聞く機会を作っている。 | | |
| 17 ○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話合いや勤務の調整に努めている。 | ご利用者の状況や体調不良時、レクリエーションや外食行事の時等、職員の人員を多く確保するなど、柔軟に対応している。事前に翌月の行事予定があれば、それに対応した勤務を調整している。 | | |
| 18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。 | ご利用者とスタッフの馴染みの関係を大切に、新人スタッフはご利用者やご家族にきちんと紹介している。又、離職が最小限になるようスタッフの良い人間関係が保てるように努めている。 | | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んで きたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む) |
|---------------------------|--|--|---|
| 5. 人材の育成と支援 | | | |
| 19 | <p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p> | <p>介護事業部長による職員レベルアップ研修が行なわれている(スタッフ研修、新人研修、認知症介護に関する研修・虐待防止研修等)。又、外部研修(実践者研修、スキルアップ研修、拘束・虐待防止研修等)にも積極的に参加し、スキルアップに努めている。</p> | |
| 20 | <p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p> | <p>厚別区の管理者会議に参加し、他のホームと情報交換を行なっている。厚別区独自の研修会に参加している。</p> | <p>○</p> <p>スタッフも地域のグループホームとの交流が出来るよう、取組んで行きたい。</p> |
| 21 | <p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p> | <p>スタッフの話を傾聴し、ストレスを解消するよう心がけている。更に有給休暇の使用を促すこともある。又、運営者、職員との懇談会や食事会などの機会を設け、ストレスを軽減する環境づくりに取り組んでいる。</p> | |
| 22 | <p>○向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。</p> | <p>スタッフの努力や更に、資格や経験年数に応じて昇給がある。</p> | |
| II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | |
| 23 | <p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p> | <p>ご利用者の退居者がいなく、開設以来新しい利用者はいないが、今後相談があった時はご本人の疑問や不安な声を傾聴し、受け止めていきたい。</p> | |
| 24 | <p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p> | <p>ご家族の不安や願い、思いなどを傾聴し、不安な事を出来るだけ受け止める様、努めていきたい。</p> | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでい きたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む) |
|---|---|------------------------|---|
| 25 ○初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。 | ご本人、ご家族にとってもっとも必要なサービスが受けることができる様努めている。 | ○ | ご家族、ご本人にとってどのような支援が必要か、相手の立場になって対応できる様に努めていきたい。 |
| 26 ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。 | ご本人とご家族が見学に来ていただき、レクリエーションに参加しご利用者とコミュニケーションを取り、ホームに馴染んでいただけるよう、努めていきたい。 | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | |
| 27 ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。 | ご利用者と喜怒哀楽を共有し、信頼関係を深めるように努めている。一緒にゲームをしたり、掃除や、炊事のお手伝い等をしていただいている。漬物の漬け方や、折り紙、時には働ける事のすばらしさをご利用者より教えていただいた事もあった。 | | |
| 28 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。 | ご家族との連絡は常に行い、健康状態について相談したり又、行事等も積極的に参加していただき、協力関係を築いている。 | | |
| 29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。 | 面会にこられた際には、ゆっくりと過ごしていただけるよう配慮している。菜の花便りや担当スタッフからの近況報告の手紙をご家族に郵送し、本人と家族の関係がよりよくなるように支援している。 | | |
| 30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている。 | ご家族、親戚、お友達からの電話や手紙等、スムーズに対応できる様努めている。又、荷物の郵送などの支援を行なっている。 | | |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでい きたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む) |
|--------------------------------|--|---|------------------------|---|
| 31 | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。 | ご利用者同士の関係を把握し、コミュニケーションが出来る雰囲気作りに努めている。レクリエーション等を行い、交流を深め、楽しく会話できる様支援している。 | | |
| 32 | ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。 | 退居者はいないが、今後とも継続的な関わりを大切にいつまでも関係を保っていける様、努めていきたい。 | ○ | サービス利用が終了しても、ホームへ遊びに来られる等、関係を継続させていきたい。 |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | |
| 33 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。 | ご利用者の希望、意向に添える様、スタッフ間で話し合っている。又、思いを伝えるのが困難なご利用者には表情や動作、サインから把握し、希望に添える様配慮している。 | | |
| 34 | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。 | ご家族にセンター方式の基本情報(Aシート)の記載をお願いしている。又ご家族やご本人から、生活歴や背景をお聞きし、把握する事によりなじみの暮らしに近づいていける様、努めている。 | | |
| 35 | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。 | 日々の暮らしの中で、心身の状態を把握できることや、出来そうなことを見極めて、出来そうな事に挑戦していただけるよう支援している。 | | |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | |
| 36 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。 | 毎月ユニット会議で介護計画のモニタリングやアセスメントをふまえ、更にご利用者やご家族の意向を取り入れ、検討し、介護計画を作成している。 | | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでい きたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む) |
|--|--|------------------------|---------------------------------|
| 37 ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。 | 3ヶ月ごとに介護計画を見直し、評価、立案している。又、期間に関係なく入院等、ご利用者の状態に変化が生じた時や、ご利用者、ご家族よりの意向等があった際、介護計画の見直しを行なっている。 | | |
| 38 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。 | 水分量、食事量、排泄状態、バイタルチェック等、日々の様子や心身の状態、ご利用者の具体的な言動等も記録し、情報を共有しながら介護計画の見直しや実践に生かしている。 | ○ | 介護計画に添った記録の充実に努めていきたい。 |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | |
| 39 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。 | 通院や買い物はスタッフが車を運転し、要望に添えるように柔軟に支援を行なっている。 | | |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | |
| 40 ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。 | 消防署の協力で、年2回、避難訓練を実施している。月に一度、歌のボランティアの方や、新さっぽろ幼稚園児の慰問等、地域の方々との交流を行なっている。クリスマス会では地域の方が来て下さり、歌や踊りを披露してくれた。 | | |
| 41 ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。 | ご利用者の希望により、訪問理美容や訪問歯科を利用している。 | | |
| 42 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。 | 運営推進会議に地域包括支援センターの方が参加され、地域の状況や制度面での知識を深める機会となっている。具体的な相談、助言も含め、日常的に協働できるような関わりになってきており、地域の情報交換や、協力関係を築いている。 | | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでい きたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む) |
|--|--|------------------------|---------------------------------|
| 43 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援をしている。 | かかりつけ医については、ご利用者、ご家族と相談し、納得が得られた医療機関を受診して頂いている。訪問診療の医師には24時間対応が可能となっているため、いつでも適切な医療が受けられるようになっている。 | | |
| 44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。 | 担当医は認知症をよく理解しているが、ご利用者の状態により、専門医を紹介していただき、適切な診断や治療が受けられるようになっている。 | | |
| 45 ○看護職との協働 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。 | 週に1回看護師の健康チェックがある。又、いつでも気軽に相談したり、助言をもらえる体制になっている。 | | |
| 46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。 | ご利用者の情報を病院に提供し、ご家族や入院した病院の看護師や相談員との連絡を取り早期退院が出来る様情報交換をしている。 | | |
| 47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。 | 入居時に終末医療に関する同意書を頂いている。重度化した場合は、その後の方針についてご利用者やご家族、医師と何度も話し合いを行い、全員で方針を共有している。 | | |
| 48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。 | できるだけ長くホームでの生活を送れるよう、ご家族や主治医と相談し、事業所の「できること、できないこと」を見極め、ご家族の希望を聞き、支援に取り組んでいる。 | ○ | ターミナルケアについて研修をしていきたい。 |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んで きたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む) |
|---|--|-----------------------|---------------------------------|
| <p>○住替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>49 本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。</p> | <p>ホームでの、情報を提供し、更にケア関係者間でも十分に情報交換をおこない、住替えてもいまままでと同じような暮らしが出来る様に努めていきたい。</p> | | |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | |
| (1)一人ひとりの尊重 | | | |
| <p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>50 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。</p> | <p>新人研修でもプライバシー保護や、個人情報について学んでいる。秘密保持については、スタッフ間で徹底している。入社時、守秘義務について、契約書を取り交わしている。個人記録は、他者に見られないよう、スタッフルームに保管している。又、ご利用者を尊重した声掛けをする様言葉づかいには特に注意をし支援している。</p> | | |
| <p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>51 本人が思いや記号を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。</p> | <p>日頃より話しやすい雰囲気となるよう心がけている。意思表示が難しい方に対しては、表情の変化などを観察し、適切な声掛けをし、ご利用者が決定できるよう支援している。レクリエーションの参加は本人の意志に任せている。</p> | | |
| <p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>52 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p> | <p>ご利用者が散歩や買い物に行きたいと言われたときには、一緒に出かけたり、室内での趣味活動、編み物やおしゃべり、又テレビを見たりと一人ひとりのペースで過ごせる様支援している。</p> | | |
| (2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | |
| <p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>53 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。</p> | <p>カットや髪染め、また、お化粧をしたり、好みの洋服を毎日取り替えたりとおしゃれを楽しんでいる。又、自己決定が出来ない方には、スタッフが一緒に考え、ご本人の意見を聞き、希望に添えるように努めている。化粧品は馴染みの店で購入している。</p> | | |
| <p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>54 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。</p> | <p>ご利用者一人ひとりの能力や力を見極めながら、毎日の食事の準備を手伝って頂いている。また、準備に参加されない方も、自分の食器の後片付けや食器拭き等を職員と一緒にこなしている。</p> | | |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでい きたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む) |
|-------------------------------|--|--|------------------------|---------------------------------|
| 55 | ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。 | 入居時に、ご本人とご家族から嗜好について情報を収集し可能な限り、要望が叶えられるように努めている。 | | |
| 56 | ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。 | 排泄チェック表を活用しながら、ご利用者の排泄パターンを把握し、トイレ誘導を行ない失禁をすることなく、気持ちよくトイレで排泄出来る様支援している。 | | |
| 57 | ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。 | ご利用者の生活のリズムを大切にしながら、可能な限り一人ひとりの希望を聞き入浴していただいている。入浴の拒否がある方には、無理に強制せず、タイミングや日時をずらして柔軟な対応をし、入浴を楽しんで頂ける様支援している。 | | |
| 58 | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。 | 一人ひとりの生活リズムを大切にしながら、ご利用者が安心して休めるような関わりとフロアの雰囲気作りに努めている。また、夜間、気持ちよく眠れるよう必要に応じ、足浴や清拭を行い安眠出来る様支援している。 | | |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | |
| 59 | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。 | ご利用者の得意なことを活かし、一人ひとり役割を持ちながら過ごされている。裁縫や編み物が得意な方、床のモップがけ、掃除、食事の後片付け、テーブル拭き等、個々の力を活かした役割が持て、楽しみのある暮らしが出来るよう支援している。 | | |
| 60 | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。 | 紛失する可能性も考慮し、ご家族の了解のもと少額のお金を持っているご利用者もいる。スタッフと一緒に買い物に行き、レジで支払いもしていただいている。 | | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでい きたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む) |
|--|--|------------------------|---------------------------------|
| 61 ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。 | お天気の良い日には、毎日の散歩、買い物には、マックスバリュウやダイソーに出かけている。桜の季節にはお花見、紅葉の季節にはもみじ狩り等、戸外に出かけられる支援をしている。 | | |
| 62 ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。 | ご利用者の希望を取り入れ、年間の外出計画を立て、外出支援を実施している。7月にはチエロの演奏会にも出かけた。12月には大型バスで大通のイルミネーションを見に行き、大変喜ばれた。 | ○ | 外出行事に多くのご家族が参加して頂ける様工夫していきたい。 |
| 63 ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している。 | 本人の希望により、年賀状や手紙の代筆をしている。又電話で話される様支援している。 | | |
| 64 ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。 | 来訪時に居心地よく過ごして頂ける様、職員が必ず出迎え、お茶をお出しし、ゆっくり過ごして頂ける様に配慮している。 | | |
| (4)安心と安全を支える支援 | | | |
| 65 ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。 | 身体拘束について内部、外部研修で学び、ユニット会議でも言葉による拘束がないか話し合い身体拘束をしないケアに取り組んでいる。 | | |
| 66 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。 | 日中は、鍵をかけていない。スタッフが連携を取り、見守りを行なう事により玄関に鍵をかけないケアに取り組んでいる。 | | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでい きたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む) |
|--|---|------------------------|---|
| 67 ○利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。 | 昼間は、さりげなく居室の確認やご利用者への声掛けを行い、安否確認と体調の変化等の確認を実施している。夜間は居室を巡回、更に必要に応じ訪室し、様子を把握安全に配慮している。 | | |
| 68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。 | 薬剤は事務所内に保管している。また、夜間は洗剤や漂白剤など異食につながるものは、ご利用者の手の届かないところに保管している。包丁、はさみ、爪きりなどの物品をご利用者が使われる時はご利用者の状態に応じて職員が見守りを行なっている。 | | |
| 69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。 | ひやり・ハット報告書やインシデントレポートをもとに、職員間で事故の原因を把握、対応策を検討し事故防止に取り組んでいる。又、内服薬についてはご利用者に飲んで頂く際は3回の声だし確認をしている。 | | |
| 70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。 | 急変や事故について内部研修で学んでいるが、ユニット会議でイメージトレーニングを実施し、少しでも落ち着いて対応出来る様取り組んでいる。又、ノロウイルス感染防止について必要な消毒液等を使い処理方法の実践研修をした。 | ○ | 応急手当や急変時の対応についての研修を定期的実施していきたい。「救命救急講習」にも参加したいと考えている。 |
| 71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。 | 近隣住民の連絡網を作成している。避難訓練はご利用者、職員、町内会長や副会長を交え、定期的実施している。日中や夜間を想定しての避難訓練を行なっている。 | ○ | 実際に地域住民も含め連絡網を使つての避難訓練を実施していきたい。 |
| 72 ○リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。 | リスク対応に関しての話は、積極的に行なっている。特に重度になってきたご利用者のご家族とは個別に話し合いを多く持っている。(入居時の様子、予測される危険性等)生活支援の場であるホームの生活が、その人らしく自由に暮らして頂いている。そのため事故とリスクと隣合わせである事を伝え、対応について相談をしている。 | | |
| (5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでい きたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む) |
|--|---|------------------------|---------------------------------|
| 73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。 | 毎日のバイタルチェック、食事・水分摂取量や排泄状況を把握し、身体の状態変化が見られた時は、健康管理看護師が担当医師に連絡、指示を受け対応している。 | | |
| 74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。 | 処方されている薬の内容は個人記録に綴じいつでも確認出来るようにしている。また、副作用による体調変化がないか観察に努めている。 | | |
| 75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。 | 排泄チェック表に排便の有無を記録し確認している。便秘予防のため、身体を動かす運動を午前、午後実施している。又水分を多めに取っていただき更に、牛乳やヨーグルト、野菜等を食べ自然排便ができる様、取り組んでいる。 | | |
| 76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。 | 毎食後、口腔ケアを行なっている。ご自分で出来ない方に対しては、スタッフが支援している。義歯については毎夕食後、義歯を磨いた後洗浄剤で除菌している。口腔ケアが困難なご利用者については訪問歯科の医師に相談指導を受けている。 | | |
| 77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。 | 栄養士が献立を作成しており、カロリーや栄養バランスに配慮した献立である。ご利用者の一日の食事量や水分の摂取量を記録、把握している。摂取量が少ない方には、好みの物を食べていただけるよう支援している。 | | |
| 78 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等) | 感染予防マニュアルを作成している。インフルエンザワクチンもご利用者、職員全員が接種している。スタッフ、ご利用者、ご家族の来館時には手洗い・うがいの徹底。更に塩素系漂白剤を使用し、調理器具やドアのふ、手すり等、館内の掃除を行なっている。新型インフルエンザワクチン、肺炎球菌ワクチンも接種している。 | | |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む) |
|-------------------------|--|--|--------------------|--------------------------------|
| 79 | ○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。 | 調理器具類は毎日消毒している。食材は賞味期限の早い物から使用している。冷蔵庫や冷凍庫内の食品の賞味期限の点検と掃除もしている。定期的に栄養士が来訪し、食材や賞味期限のチェックに来ている。 | | |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | |
| (1)居心地のよい環境づくり | | | | |
| 80 | ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。 | 車椅子の方も出入りできるようにスロープを設置している。広い駐車場があるり更に、玄関横には観葉植物を置き安心して出入り出来るように工夫している。 | | |
| 81 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。 | リビングは自然採光が入りいつも明るく清潔である。又、季節に合った装飾をしたり、出窓には、ご利用者が育てている胡蝶蘭の鉢植えがあり、年2回美しい花を楽しんでいる。更に観葉植物等を置き落ち着いて過ごせるよう工夫している。 | | |
| 82 | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。 | リビングにソファやテレビを設置し、気のあったご利用者同士が談笑したり休まれたりと、居心地よく過ごせるよう工夫している。 | | |
| 83 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。 | 今まで使っていた馴染みの物、仏壇・鏡台・タンス・カラオケを練習する為のラジカセなど、使い慣れた物や、大切な物を置き居心地よく過ごせるように努めている。 | | |
| 84 | ○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。 | 掃除をする時は各居室の換気も行なっている。又加湿器や洗濯物を干して適切な湿度になるよう努めている。 | | |
| (2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり | | | | |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む) |
|----|--|---|--------------------|--------------------------------|
| 85 | ○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。 | 段差をなくし廊下やトイレ・浴室に手すりがついており、安全な歩行ができる様、工夫されている。 | | |
| 86 | ○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。 | ご利用者が分かり易いようトイレや浴室等見やすい表示をしている。混乱や失敗を防ぐため、表札を大きく見やすくした。繰り返し生活の動作をすることでホームの生活に慣れていただき、ご利用者の力と意欲を引き出せるように支援している。。 | | |
| 87 | ○建物の外回りや空間の活用 建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。 | 庭に花を植えたり、野菜作りをしたりして収穫し、ミニトマト等はおやつにして食べている。 | | |

| V. サービスの成果に関する項目 | | |
|------------------|--|---|
| 項目 | 取り組みの成果 | |
| 88 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる | ①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんど掴んでいない |
| 89 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある | ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない |
| 90 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている | ①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない |
| 91 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている | ①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない |
| 92 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている | ①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない |
| 93 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている | ①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない |
| 94 | 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている | ①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない |
| 95 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています | ①ほぼ全ての家族 ②家族の2/3くらい ③家族の1/3くらい ④ほとんどできていない |
| 96 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている | ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない |

| V. サービスの成果に関する項目 | |
|------------------|---|
| 項目 | 取り組みの成果 |
| 97 | <p>運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。</p> <p>①大いに増えている ②むしろ増えている ③あまり増えていない ④全くいない</p> |
| 98 | <p>職員は、生き生きと働いている</p> <p>①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない</p> |
| 99 | <p>職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない</p> |
| 100 | <p>職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどいない</p> |

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載) 下肢筋力低下防止のため、天気の良い日は毎日散歩に出かけている。室内ではできるだけ体を動かす事の出来るレクリエーションを取り入れ実施している。ご利用者一人ひとりに役割分担が決まっており、廊下のモップ掛け、居室の掃除、手すりの消毒、食事の下準備、食器拭きと食器の片付け等を行なっている。又、地域との交流も徐々に進んできており、幼稚園児、地域の方々の訪問も増えてきている。更に町内会の老人クラブのカラオケサークルに定期的に参加しているご利用者もいる。